

明治元年  
新開

可憎画主、数々女房の  
尻可憐、密夫の太き尻  
愛、東京本竹藏の女房あつる坂田  
九番地の村上竹藏の女房あつる坂田  
熊吉といふ者と、密通せしむと察せしむ  
確と見せしめ、又、子も有中と控へ置く  
幸抱つて、心強き女房、無理に  
離れ、望む、せん、去伏遣せしむ  
以後、あつと熊吉、許さず、同席も、  
堅く、承知せしむ、脚も、彼の  
熊吉、手こ、急、闇夜の、身も  
情、行道、見當り、  
竹藏の、直心も、とて、

今、塔  
死、



阿波文版  
芳瀧

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

